

- [2010年8月](#) [総覧](#) [モバイル版](#) [過去記事](#) [検索](#)
- 2010/08/31 [海外留学、ますます盛ん](#)
- 2010/08/30 [ウィルス感染](#)
- 2010/08/29 [高い中華、安い日本食](#)
- 2010/08/28 [マオイスト内の3派對立](#)
- 2010/08/27 [UNMIN、踏んだり蹴ったり](#)
- 2010/08/26 [静かなキャンパス](#)
- 2010/08/26 [静かなキャンパス](#)
- 2010/08/25 [ゴミと糞尿のポストモダン都市カトマンズ](#)
- 2010/08/24 [梅雨のカトマンズと5回目首相選挙失敗](#)
- 2010/08/23 [首相選出延期と中国の進出](#)
- 2010/08/22 [電力浪費TIA](#)
- 2010/08/21 [福岡空港のアジア的繁盛、関空の閑古鳥](#)
- 2010/08/20 [ネパール・国連・中国、いずれが上か？](#)
- 2010/08/18 [首相選挙，一週間延期](#)
- 2010/08/16 [非核記事と広告：いずれが連動しているのか？](#)
- 2010/08/14 [失業とハゲタカ金融](#)
- 2010/08/13 [マオイストの連帯:アフガンとインド](#)
- 2010/08/12 [タマコシ水力発電，中国が受注](#)
- 2010/08/09 [ミスコンに籠絡されたマオイスト](#)
- 2010/08/08 [首相選とカネ：マオイストの資本主義化](#)
- 2010/08/07 [ネパール首相選と教祖アメリカ](#)
- 2010/08/06 [プラチャンダ議長，4回目も落選](#)
- 2010/08/06 [核廃絶のトレンド化とネパール](#)
- 2010/08/03 [首相再々々選挙へ：民主主義の進化と代償](#)
- 2010/08/01 [タライ搾取者としてのマオイスト](#)

2010/08/31

海外留学、ますます盛ん

谷川昌幸 (C)

ネパールの海外留学はもはや発熱状態。内向き志向の日本青年と好対照だ。

日本でも大卒就職率が60%、10人に4人が常勤職に就けないとはいえ、贅沢さえいなければ衣食に困ることはない。好き好んで海外に出て苦勞するまでもないわけだ。

ネパールの失業率ははっきりしないが、多くが不完全雇用であることは間違いない。その彼らにとって海外留学は、優雅な遊学とはほど遠い、必死の生存競争のためなのだ。

今日は、バグバザールのラトナ書店に行った。この界限には、ありとあらゆる留学や留学予備校の宣伝があふれている。

最近の人気は、カナダやオーストラリアのようだ。韓国語学校も増えているが、これは就業資格取得のためであろう。日本語学校は、あるにはあるが、存在感はますます低下してきている。

かつてカンティパットの宮殿のような建物に居を構えネパール青年であふれていた英国文化センターが、徐々に縮小され、やがて閉鎖されてしまった経緯を見る英国人のやるせない思いが、よくわかる。

石原裕次郎が歌ったように、恋や人生に終わりがあるように、「国民」の青春にも終わりがあるのだ。



バグバザールの留学広告

12:53 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [文化](#)

2010/08/30

ウイルス感染

谷川昌幸 (C)

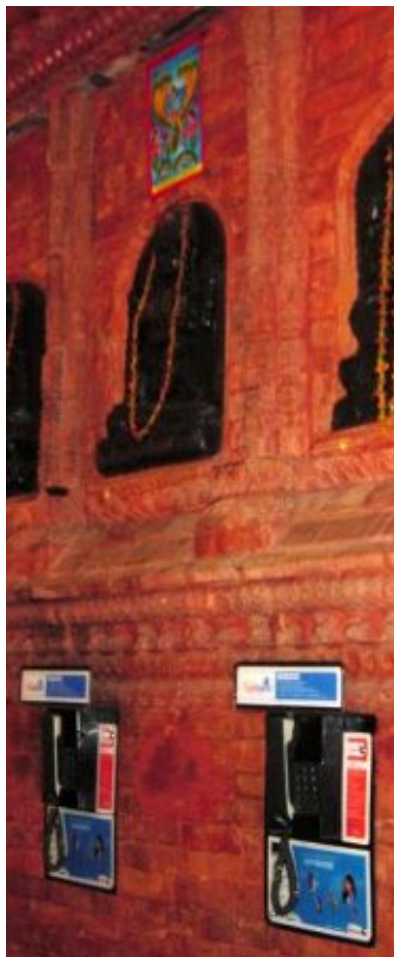
ネパールはウイルス天国。各種いるらしく、以前は、滞在中必ず1, 2回下痢や発熱に悩まされた。最近は、ほぼ感染しつつし、免疫ができたのか、ほとんど下痢も発熱もない。

ところが、ネパールのネットやパソコンには新種ウイルスが増殖しているらしく、感染が増えるばかり。今回も、たぶんUSBを介して、ウイルス感染してしまった。

■QHost-24, New Malware, j

インストール済みのマカフィーでは防止も除去もできず、素人の私にはお手上げ。この「トロイの木馬」ウイルスがどの程度危険なのかわからない。

システム上書き禁止など、パソコン機能を最大制限し、こわごわ使用している。対処方法が分かれば、ぜひご教示願いたい。(MSNはえらい。わがパソコンを怪しいとにらみ、メールやブログの入り口を閉鎖してしまった。使用不可となったが、安全のためであり、やむをえない。あれこれ悪口を言ってごめんなさい。この投稿はネット屋さんのパソコンから)



(左) どこにもWiFi。速いがウィルス天国。(右) 壁埋め込み公衆電話。時代遅れながらセンスはよい

14:17 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [コンピューターとインターネット](#)

2010/08/29

高い中華、安い日本食

谷川昌幸(C)

中国は多様であり、中国料理もピンからキリ、一概には言えないが、相対的に見てネパールの中華食堂は日本食堂よりも高い。

ホテル近くの中国食堂。以前から少々高いな、と感じていたが、今夜行ってみて、さらに高くなっていて驚いた。タメルの日本食堂の2倍はする。

それでも店内はリッチな中国人客でいっぱい。食卓を囲み豪華な晚餐を楽しんでいる。私は、それを横目に、庶民の一品料理ヤキ

メシを一人さみしく食べてきた。

このところ日本人は、NGOやセミナー産業でも、以前ほどちやほやされない。カネを落とさなくなったからだ。カネの切れ目が縁の切れ目。万国共通の鉄則だ。

品格を落とさず優雅に没落していくには、どうすべきか？ 日本ではお公家さん、外国では英国がお手本だ。今後、日本では「没落学」「衰退学」が注目されることになるろう。

メニュー最安値のヤキメシだが、味はよかった。マオイストの味でもプロレタリアの味でもなく、まちがいなくブルジョアの味。社会主義的市場経済、万歳!

■ 某中華食堂ヤキメシ代

ヤキメシ	250ルピー
サービス料	25ルピー
消費税	32ルピー
計	307ルピー



(写真) マイティガルの丘の上の名門カレッジ。「西洋=キリスト教=優越」コンプレックスを感じざるを得ない

12:59 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [文化](#)

2010/08/28

マオイスト内の3派對立

谷川昌幸(C)

マオイストが3派に分裂し始めた。外敵を見つけ再結集するか、それともこのまま対立を深め分裂に向かうの

か？

プラチャンダ議長が中央、その右がバブラム・バタライ副議長、左がバイダ副議長。この3氏の関係を、カトマンズポスト(26日)がうまく分類している。

争点	プラチャンダ	バブラム・バタライ	バイダ
戦略	街頭・議会・政府内での闘争。最後の手段として蜂起	NC,UMLとの可能な限りの協力による「折衷的憲法」。人民蜂起は「非科学的」	人民憲法のための「人民蜂起」。野党を堅持
党大会	和平実現、憲法制定以前は無理。拡大中央執行委員会でのよい	必要かつ可能。党指導の失敗で党は混乱している	必要かつ可能。党指導は失敗
主敵	内外の反動的諸勢力の総体	インドではなく、国内の反動的諸勢力	インド。独立運度を始めよ
2002年決議	多党制民主主義採択の2002年決議については中立	2002年決議路線は正しい。それに沿う人民革命は可能	2002年決議は誤り。人民蜂起が不可欠

これら3派は、状況により立場を変えていくであろうが、少なくとも現在はこのような相互関係にある。

いま、これら3派の分裂を押しとどめているのは、制憲議会第1党の既得権益であろう。もしNCが狙っているとされる大統領統治(大統領委任独裁)、制憲議会解散となれば、3派は分裂する可能性がある。(主敵が出現し再結末する可能性もあるが。)

UNMIN延長問題も絡み、状況はマオイストにとっても混沌としてきた。

15:38 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [マオイスト](#)

2010/08/27

UNMIN、踏んだり蹴ったり

谷川昌幸(C)

UNMIN延長が政争の具となり始めた。悲惨な内戦を終結させるため、政府・マオイスト一致して三顧の礼をもって迎えられたのに、まるで手のひらを返したような仕打ち。ヒドイ！

1. コングレス

最強硬派は kongress党 (NC)。ラムシャラン・マハト前蔵相によれば、この4年間でUNMINの任務は終了した。暫定憲法、制憲議会 (CA)選挙、共和制が実現し、あとは憲法に則り粛々と統治をやるだけだ。UNMINは不要。

しかも、UNMINは任務を十分には果たしていない。マオイスト人民解放軍 (PLA)監視は、マオイスト側報告の鵜呑み。戦闘員たちは政府給付金をもらえば、あとは自由。宿営所 (カントンメント) の外に出て違法行為をやったり、宿営所内では毛沢東思想

教化に余念がない。

だからUNMINはもうお役御免。さっさと出て行くべきだ。もし居残りたいのなら、PLAの監視を直接実施する一方、国軍（NA）は監視対象から外す。国軍は憲法に則り運用される。もしUNMINが任務をこのように限定するなら、UNMIN延長を認めてやってもよい。

2. 統一共産党

統一共産党（UML）もほぼ同じ。プラディプ・ギャワリによれば、状況が変わったのだから、もはや国軍はUNMIN監視下に置く必要はない。もし諸党がこれに同意しないのであれば、UNMINは退去すべきだ。

3. マオイスト

これに対し、マオイストはUNMINの味方だ。バルシャマン・ブンによれば、NCとUMLは、インドの意を受け、UNMIN追放を図っている。UNMIN追放後、両党は大統領統治に移行し、CAを解散するつもりだ。もしそうなれば、マオイストはPLAを宿営所から出すことになる。

4. UNMIN

こうした論争に対し、UNMIN幹部は、もし諸党合意がならなければ、UNMINは退去する。無理に居残るつもりはない、と反論している。

5. UNMINのジレンマ

以上は、当事者合意を前提とするPKOの宿命ともいべき難題だ。UNMINとしては、NC=UML（=NA）の側にも、マオイストの側にもつわけにはいかない。もし国軍を監視対象からはずせば、UNMIN派遣の前提が崩れてしまう。

かといって、当事者合意の崩壊を理由に退去することになれば、UNMINは失敗ということになり、メンツは丸つぶれ。駐留継続には、NAを監視下に置き、何としてでも憲法を制定させなければならない。

しかし、これは結局マオイストの利に叶うことであり、UNMINはマオイストの味方だ、という非難に絶好の口実を与えることになる。UNMINに「平和強制」が可能なら、NC=UMLが何を言おうが、包括和平協定を強制できるのだが、そうはできないところにUNMINのジレンマがある。

6. 平和構築任務の難しさ

平和構築の現場は、ドロドロの利害が渦巻いており、泥まみれになるつもりでないと、任務は達成できない。現場の実務家にとっては、労多く報われることの少ない難しい仕事である。外からの批判は楽だが。

■ 追加

マダムクマール・ネパール首相が、UNMINを「政治ミッション」からPLA監視を任務とする「専門家ミッション」へと縮小することを提案した。マオイストは、議会に参加しているので、包括和平協定の「両当事者」の一方ではなくなったというのが理由。

同じUMLでも、次期首相の本命と目されているカナル氏は、UNMIN延長に理解を示し、マオイスト寄り。国連をも味方につけようという作戦であろう。

9月初旬の第6回首相選挙は、この国連－マオイスト寄りのUMLカナル氏とインド－国軍寄りのNCポウデル氏との争いとなる可能性が高い。そして、もしマオイストがカナル支持に回れば、カナル氏勝利となる。この場合、国軍がどう動くかが、注目される。

今日(27日)、シンハーダー(官庁街)の前を通ったら、国軍志願者たちが、雨中、堀沿いに長蛇の列をつくり、順番を待っていた。新兵(補充名目3464人)募集は既成事実となっているようだ。

ネパール首相選挙は、国軍と絡むと同時に、国連など国際的な広がりも持ち始めた。ますますもって難しい。

15:21 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [平和](#)

2010/08/26

静かなキャンパス

谷川昌幸(C)

午前曇天ながら明るかったので、傘なしでトリブバン大学キルティプール校に出かけたら、やはり降り始めた。シトシト梅雨そのもの、やみそうにない。しばし門衛所で雨宿り。

キャンパス内は、キルティプール校もそうだが、学生組合の看板、チラシなどがほぼ撤去され、きれいになった。日本の大学みたい。

逆にいえば、これは学生組合の政党への従属性の現れ。政党幹部が動員をかければ狂暴に暴れまわるが、やめよと言えば、ケロリと忘れ、実利第一主義に戻る。

学生とは対照的に、このところ低カーストや少数民族は自己主張を強め、特権を次々に獲得している。いまでは彼らの特権欲しさ、ブラーマンやチェットリが身分を偽り自ら低カーストを装うことすらあるという。

このカースト下克上は、年齢差別にまでは及んでいないようだ。ネパールでは長老支配の古き良き慣習がまだ健在である。逆に日本では、若者が老人を支配している。青壮年の「子供」が、老父母の年金で遊びまわり、死者の年金で借金返しをする。そんな超現実主義の時代が、ネパールにも来るのだろうか？



霧雨のTUプルチョーク・キャンパス



木の下で雨宿りする学生たち



各政党系学生組合チラシが貼られた掲示板



この付近は国連機関・NGO事務所街



国連機関の高級4 駆



アサン入口。鼻をつまみお買いもの

2010/08/25

ゴミと糞尿のポストモダン都市カトマンズ

谷川昌幸(C)

1. ゴミまみれ

政治の停滞のせいで、カトマンズのゴミが処理されず、街中ゴミまみれ。繁華街タメルの入り口、目抜き通りニューロード、いたるところに生ゴミが放置され、悪臭を放っている。

バチ当りなことに、聖牛が強烈な腐敗臭を放つ生ゴミをあさっていても、気にする人は誰もいない。罪深い人間の穢れ(生ゴミ)を身を犠牲にして浄化してくれているというのに……。

もしゴミが穢れなら、出さないか、出したら処理すべきなのに、そうはしない。かつて地域共同体が強力であったころは、カースト差別の問題はあったにせよ、少なくともゴミ処理はきちんと行われていた。その頃は、カトマンズも村々も美しかった。

ところが、共同体の弱体化、カースト差別の減少によりゴミ処理が政治の責任となってきたのに、政治は機能せず、ゴミを誰も処理しなくなってしまった。かくて、街も村もゴミまみれの穢れに陥ってしまったのだ。



ニューロード入口（ラトナ公園方面より）



ニューロード（遠景は旧王宮）



ゴミを浄化する聖牛 2 頭（旧王宮付近）

2. 移動トイレ

もうひとつ、カトマンズに増えたのが、移動トイレ。人が多く集まるラナ公園付近や旧王宮などに設置されている。

かつてネパールには公衆トイレはなく、村ではもちろん、カトマンズでも人々は物陰や路地で用を足していた。人の数が少なく、糞尿は自然処理され、大して問題にはならなかった。

ところが、いまやカトマンズは数十万人の大都市。公衆トイレなしでは済まない。

もし政治がまともに機能しておれば、人の集まるところには不可欠の公衆トイレを設置するはずである。ところが、ここでも政治の貧困のせいで、常設型トイレが設置されず、移動トイレを持ってきて急場しのぎをしている。

「神々の住む街」から「ゴミと糞尿の街」へ。欧米知識人にそそのかされ、モダン（近代化）を時代遅れとバカにし、ポストモダン政治を夢想するネパール政治の、これが現実である。



バス停の移動トイレ（ネパール航空ビル前）



旧王宮の移動トイレ

12:17 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [文化](#)

2010/08/24

梅雨のカトマンズと5回目首相選挙失敗

谷川昌幸(C)

21日深夜カトマンズに到着して以来、今日24日まで毎日、一日中シトシト小雨が降り続けている。日本の梅雨そっくりで、昼間でも寒いくらいだ。これまで幾度か経験したカトマンズの夏とは全く異なる。

以前であれば、8、9月のカトマンズは、雨期とはいっても、ザーと降り、しばらくすると日が照り蒸し暑くなった。傘なしでも、それほど困らない。ところが、この数日、絶え間なく小雨が降り続く。傘なしではすげせない。

これとは対照的に、最近の日本の降雨は集中豪雨的、熱帯的となってきた。かつてのカトマンズに近い。やはり世界的異常気象であろうか？

そんな中、歓楽街タメルには観光客がかなり戻ってきた。停戦となり(終戦ではない)、世界各国からのツアーが再開されたい。悪しき平和も良き戦争に勝る。あれこれ批判されても、政治家・官僚諸氏の平和努力はそれなりに評価できる。

昨23日も、やはり首相は選出できなかった。カトマンズポスト朝刊の1面下に小さな記事が出ている。梅雨・洪水の十分の一以下。5回目ともなると、その程度の扱いになってしまう。

それでもMK・ネパール首相の暫定内閣のもとで平和は維持されている。梅雨のようなすっきりしない平和だが、内戦よりも暴力的街頭政治よりもはるかにましである。そのことは、忘れてはならない。

■ 第5回首相選挙(8月23日)

プラチャンダ(マオイスト)

出席 5 6 3

賛成 2 4 6

反対 1 1 1

棄権 2 0 6

ポウデル (NC)

出席 5 6 7

賛成 1 2 4

反対 2 4 3

棄権 2 0 0



梅雨の中の犬とポストと露天商（日本大使館前。8月23日）



霧雨の夜の繁華街タメル(8月23日)

12:37 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [ニュースと政治](#)

2010/08/23

首相選出延期と中国の進出

谷川昌幸(C)

今日23日は首相選挙のはずだと思いカトマンズポスト朝刊を見たら、1面下に、**小さな記事**が出ていた。今日の第5回投票でも首相はまず選出できない。その場合は、第6回投票を9月第1週に実施するということらしい。いまや首相選挙はその程度の扱い。M・K・ネパール首相のノリクワリ戦術にはまりつつある。

選挙管理内閣といえども、これだけもてば立派なもの。大臣諸賢、600名の議員諸兄弟も安堵されていることだろう。

太平楽の政治から目を庶民生活に移すと、目につくのは中国の進出。看板から日本語が減り、中国語が増えてきた。街中には中国人らしき人も多い。



タメル : 8月23日

この中国病院は以前からあったのだろうが、こんな派手な広告はなかった。中国人が増え、病院も繁盛しているのだろう。

できればタライに行き、印ネ国境付近の中国化政策(中国文化会館などの建設)の現状を見てきたいと思う。

16:45 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [ニュースと政治](#)

2010/08/22

電力浪費TIA

天井を照らすのは、一般に、植民地コンプレックスの裏返しらしい。バンコク・スワナブーム空港の倒錯照明については以前批判した(下記参照)。

ところが、昨夜、ドラゴン航空で深夜トリブバン空港に降り立ったら、何とこの空港ビルの正面(出入口、車乗降場)が間接照明になっている。感動のあまり、ズッコケそうになった。

谷川昌幸(C)

ネパールは、電力不足が恒常化し、乾季には18時間停電の有様。それなのに、大電力消費の照明器具をたくさん並べ、こうこうと天井を照らしている。足元は暗い。何たる倒錯か？ われらには、庶民に配る電力はなくても、天井や空を照らす電力はふんだんにあるぞ、どうだ参ったか！

おかげで、空港から出てくる客の顔が、出迎えの人々からはよくわからない。いったいこんな不経済、不合理で反時代的な「時代遅れ」の照明方法を途上国で指導しているのは、誰なのだろう？ 摩訶不思議だ。



天井を照らす照明。トリブバン空港正面。8月21日午後11時ころ

[関連記事]

[スワンナプーム空港の倒錯と愚劣](#)

[過剰と欠如：スワンナプーム空港の悲喜劇](#)

17:38 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [文化](#)

2010/08/21

[福岡空港のアジア的繁盛、関空の閑古鳥](#)

谷川昌幸(C)

久しぶりに福岡空港国際線を利用した。国内線との共用で、都心部からのアクセスもよく、メチャクチャ便利。したがって、たいへん繁盛している。

空港にはアジア各国のカラフルな飛行機がひしめき、ロビーは韓国人や中国人でいっぱい。

滑走路は1本なので、見てみると、大型ジャンボからおもちゃのような小型機まで、3分に1機くらいの頻度で離着陸している。目一杯、もう限界だろう。

九州を起点とすれば、東京よりも韓国、中国、台湾の方が航空券代では比較にならないほど安く、時間的にも近いところが多い。九州が日本国(東京)にある必要はない。むしろ、東京を切り捨て、近隣アジア地域との関係を緊密化すべきだろう。福岡空港は、日本というよりは、むしろアジアそのものとなりつつある。

これと対照的なのが、関西空港。土建屋的発想でこけおどしの豪華施設を造ったものの、交通の基本を設計者が理解していなかったため、「乗り換え」、つまりハブ機能をないがしろにし、おそろしく不便な空港となってしまった。アホか！と大阪人でなくても、この空港を使用する人はみな怒っている。

空港ビルはシャッター通りとなり、閑古鳥が鳴いている。この惨状を見ると、少なくともこの点に関しては、橋本知事の言うことは、正しい。伊丹と神戸の2空港を閉鎖し、関空に統合すべきだ。

そうしないと、タカ派たる橋本知事のこと、閑古鳥を鳴かせておくくらいなら、米軍を誘致してしまえ、ということになりかねない。ワシの方が閑古鳥よりも断然強いからだ。

18:04 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [経済](#)

2010/08/20

ネパール・国連・中国、いずれが上か？

谷川昌幸(C)

ランドグレン代表が、UNMIN任期切れ（9月15日）を心配し、3党有力者に延長を要請した。

マオイストは、もちろん大喜びで、もっともって下さい、といったらしい。NCとUMLは、それは政府の決める事柄だ、とイヤミたっぷりに応えたという。まともな「政府」などないことは、彼らが一番よく知っている。

UNMINの延長そのものは、結局は認められるであろうが、見方によれば、UNMINのせいで、いつまでたっても自治が育たないともいえる。いや、金にもならない自治よりも、むしろUNMINは金づるとしてネパール政治家や国際官僚たちに巧妙に利用されているだけのような気がする。

この点、がわが陸軍はえらい。頼まれもしないのに、早々と6ヶ月の延長を決めてしまった。イヤミを言われるまでもない。お目出たい。

ところが、そのネパール政治家や国際官僚たちよりも、もっと上に行くのが、中国だ。ランドグレン代表がイヤミを言われながらUNMIN延長のお願いをしているそのすぐ横に、中国企業が「中国工場直売」の宣伝をしている。

ネパールがどうなるだろうが、そんなことはどうでもよい。ネット通販で中抜きをやり、海外出稼者たちの汗と涙と血の結晶たる仕送りを、ちゃっかりいただいてしまおうというわけだ。

さすが、中国は賢い。6千年の歴史には、誰も対抗できない。そのうち、日本市場も中抜きされ、スカスカになってしまうだろう。すでにいまでも、たとえばデルに注文すると、中国工場からパソコンが直送されてくる。日本に工場や販売店など、置いておく必要は全くなくなっているのだ。

Landgren expresses concern over UNMIN's mandate

EKANTIPUR REPORT

KATHMANDU, AUG 20 -

United Nations Mission in Nepal (UNMIN) has expressed concern over the extension of its mandate that is due to expire on Sept. 15.

UNMIN Chief Karen Landgren met top leaders of the major three parties on Friday and asked their view on extending the mission's term.



Share/ Bookmark/ Rating

SHIRE

BOOKMARK

(0 Votes)

TRADE TANG.COM

Buy from China

30,000+ Suppliers
A++ Quality
Direct From Factory
Lowest Prices

JOIN FREE

www.TradeTang.com Add to Google

Reporter(s)

UNMIN代表と中国通販 (KOL, Aug 20)

「中国から買おう。工場直送、激安」たしかく、このHPを見ると、何でもある。そのうち、日本向けHPもできるにちがいない。

22:34 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [ニュースと政治](#)

2010/08/18

首相選挙、一週間延期

谷川昌幸(C)

5回目の首相選挙は、今日18日の予定だったが、ラムクマリ・ヤダブ議員(マオイスト)の死去を理由に、1週間延期されることになった。

首相選挙は迷走また迷走。しびれを切らしたのか、マオイストのバブラム・バタライ副議長が、**議員以外からの首相選出**という迷案 = 名案を提案した。

これはスゴイが、やけそ提案といってよい。実際には恥ずかしくてできるわけがない。これは、私が以前から提案している「大統領委任独裁」への地ならしではないか？ 知恵者、愛国者のバブラム氏なら、そのくらいのことは考えそうだ。

このままでは、ネパールは何らかの形の「委任独裁」にならざるをえない。伝統的な国王親政と、どちらがましか？ そこが問題だ。



「悪や不正義への屈服より戦って死ぬことを選ぶ」バブラム・バタライ

【追加】

5回目投票は、結局、8月23日（月）となった。

10:39 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [民主主義](#)

2010/08/16

非核記事と広告：いずれが連動しているのか？

谷川昌幸(C)

制憲議会のS. ネムワン議長が核兵器反対を表明したという記事の横に、おなじみの米務省が、「非核世界に向けて」という宣伝を出している。記事連動広告だろうが、ここまでうまく連動すると、連動しているのは、広告ではなく、むしろネムワン議長の方のような気がする。

米務省の政治広告に連動して、ネパールの政治家が動く。まさか、そんなことはあるまいが、さて、どうだろうか？

Call to slash investment in nukes

RSS

A+ A-

KATHMANDU, AUG 16 -

Constituent Assembly Chairman Subash Nembang Monday expressed his deep concern over the continuing tendency of amassing nuclear weapons among powerful countries.

If the money invested in building nuclear plants can be utilised for the development of underdeveloped countries, the living standards of people will rise, he said while inaugurating an international seminar on "Arms Down Signature Campaign for Disarmament for Shared Security" organised here by Religions for Peace, International, and Religions for Peace, Nepal.



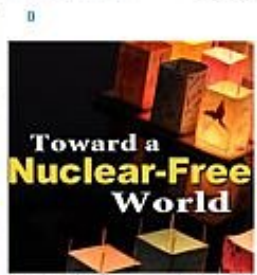
Share/Bookmark/ Rating

SHARE

BOOKMARK

☆☆☆☆☆

(0 Votes)



www.nepalreview.com Add to Google

Reporter(s)

RSS

Toward a Nuclear-Free World

Experts present 3 steps toward a nuclear-free world:

- Step 1: [Rene Gutierrez](#) [Read more](#)
- Step 2: [Francis Goodby](#) [Read more](#)
- Step 3: [Harold Smith](#) [Read more](#)
- Step 4: [Walter Sposand](#) [Read more](#)
- Step 5: [Cristina Stanoul](#) [Read more](#)
- Step 6: [Thomas Robinson](#) [Read more](#)

Offer your suggestions on how to achieve a nuclear-free world below.

KOL(Aug.16)。ネムワン議長（ネ政治）と米国務省（米政治）とは少なくともKOL画面では完全連動。どちらがどちらに連動しているかは不明。

もともと、日本でも、なんと「安保50周年」切手が出た。朝日新聞のおかげで、郵便局も安心してこんな記念切手を出せる。世が世なら、デモ隊が日本中の郵便局を包囲していたはずだ。よい時代になったものだ。



「日米安保条約改定50周年」記念切手

19:55 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [ニュースと政治](#)

2010/08/14

失業とハゲタカ金融

谷川昌幸(C)

13日のnepalnews.comに、南アジア青年（15-24歳）の失業増加の記事が出ている。

■ 青年失業者数（百万人, 2009, ILO）

南アジア	15.3
東南アジア	8.3
東アジア	12.8

この不安なニュース記事の横に、派手な日本語広告があり、それをクリックすると、FX取引へと誘導される。FXとは、「外国為替証拠金取引」のことらしいが、要するにバクチ、素人が手を出すと破滅は必定。こんな危険な賭け事は、その筋の玄人さんに任せておくべきだ。

The screenshot shows a news article titled "Youth unemployment in South Asia reaches all time high" with a sub-headline "Friday, 13 August 2010 12:10". The article text includes: "International Labour Organization (ILO) has said youth unemployment in South Asia reached an all-time high of 15.3 million in 2009 due to the two-year long financial crisis. At the end of 2009, there were 12.8 million unemployed young people in East Asia, 8.3 million in South-East Asia and the Pacific and 15.3 million in South Asia, said a fresh report released by ILO. Youth unemployment stood at 13 percent globally or 81 million at the end of 2009. That is an increase of 7.8 million since 2007, prior to the global crisis, the report added. Globally, the youth unemployment rate is expected to rise until 2010 to reach 13.1".

Next to the article is a large yellow advertisement for "FX ONLINE" (FOREX) trading. The ad features the text: "オリコン顧客満足度、FX部門総合第1位。結果を出すならFXオンライン" and "ONLINE FX CFD ED by MARKETS". It also includes a button that says "お申込みはコチラ" and small text at the bottom: "金融商品取引業 関東財務局長(金商)第254号".

(左) 青年失業増加記事, (右) FX 広告

そんなバクチ資本主義の広告が、Least Developed Countriesの一つたるネパールのネットに出される。まるでハゲタカのようなものだ。下欄のこの有名な写真と、見比べてほしい。精神態度において、資本主義とは、結局、どこでも餌をあさるこのハゲタカのようなものなのだ。



ハゲタカと少女 (K. カーター /ピューリッツァー賞)

2010/08/13

マオイストの連帯:アフガンとインド

谷川昌幸(C)

アフガン・マオイストが、印マオイスト同志殺害を悼み、連帯声明を出した。("On the Occasion of Martyrdom of Comrade Azad: Expressing soridarity with Communist Party of India - Maoist, " Communist (Maoist) Party of Afghanistan, July 15, 2010)

殺害されたのは、印マオイスト政治局員・中央委員のアサド (C. Rajkumar) 同志。印マオイストの発表によれば、7月1日、アンドラプラデッシュ特別警察がアサド同志を拘束、ヘリでジャングルに運び、遭遇戦に見せかけ、殺害したという。遭遇戦殺害という警察発表と印マオイスト発表のいずれが事実か、報道だけではわからないが、このような謀殺手段が多用されていることは事実のようだ。

アフガン・マオイストの連帯声明によれば、インドでは28州のうち20州にマオイスト運動が拡大し、これに対し政府は25万人の警官・傭兵を動員し「グリーンハント」作戦を展開している。この人民弾圧と勇敢に戦っている印マオイストに、アフガン・マオイストは全面的な連帯を表明したのだ。

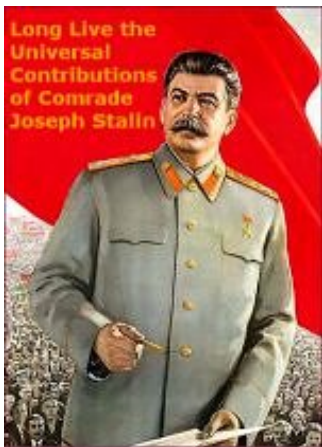
アフガン・マオイストがどのくらいの勢力なのかは分からない。しかし、南アジア・マオイストの「思想堅固」さは、下掲のポスターを見ても、十分理解できる。自由主義(資本主義)世界が何を言おうと、毛沢東はむろんのこと、スターリンも彼らにとっては導きの赤星なのだ。

アフガン・マオイストの声明は、アサド同志は謀殺されたが、人民の中から次々と別の「アサド」氏が立ち上がり、人民戦争に参加するにちがいないと予言している。米=NATOのアフガン攻撃、パキスタン政府の人民弾圧、そしてインド資本主義の地域住民搾取が続けば、この予言通りになる可能性は十分にある。

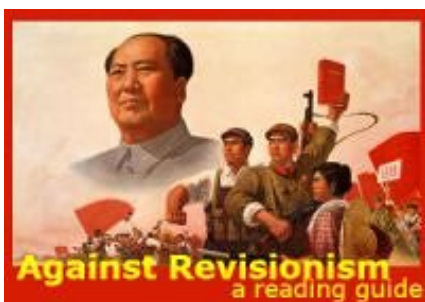
南アジアのマオイスト連帯、宗教の違いを超えた反帝国主義・反新植民地主義の戦いが始まる可能性はあるのだろうか？ インド政府にとっては、杞憂ではすまされない深刻な問題になりつつある。

THE MARXIST-LENINIST ABOUT STUDY GUIDE

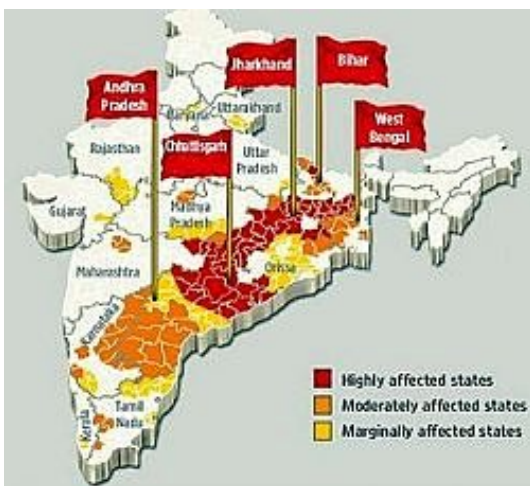




スターリン健在



毛沢東主義の中心はいまや南アジア



インドのマオイスト運動

2010/08/12

タマコシ水力発電, 中国が受注

谷川昌幸(C)

中国水電が, ネパール最大の水力発電事業を受注した。中国には, 金も人も技術もある。日本や韓国は太刀打ちできない。

上部タマコシ発電所

- ・発電能力: 45万キロワット
- ・契約額: 152億円



(Record China, 11 Aug)

しかし, このような中国の南下は, インド国益にとっては深刻な脅威となる。インドとしては, 中国が南下政策をとればとるほど, ネパールへの内政干渉を強めざるをえない。

その結果, ネパールは, ますます難しい状況に追い込まれる。緩衝国家の宿命とはいえ, 因果なことである。

<関連記事>

[中国のネパール進出とアメリカ国益](#)

16:21 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [経済](#)

2010/08/09

ミスコンに籠絡されたマオイスト

谷川昌幸(C)

ネパールでは、女の商品化、ミスコンが、ますます盛んになってきた。主催は「秘宝」社、スポンサーはダブル(ダブル?)社など。わがソニーも協賛している。こんなズレたことをしているから、アップルの後塵を拝することになるのだ。ソニーよ、クールたれ!

そこでわからないのが、マオイスト。女性の味方マオイスト、女性40%を誇る人民解放軍。つい2,3年前までは、ミスコン粉砕で世界の女性の喝采を浴び、女性解放の前衛を自他共に認めていたのに、いまやダンマリ、黙認らしい。そのうち妖艶な「秘宝」がマオイスト女性の中からあらわれるかもしれない。

マオイストは、マデシ議員をゲンナマで買収しているという噂が絶えない。**革命は銃口から**ではなかったのか? カネまみれ、色仕掛けで革命はなるのか?





SONY make.believe **THT Life**

■ 関連記事

- [マオイスト諸君, **ミスコン**を粉砕せよ](#)
- [クマリと**ミスコン**: マオイストは本物か?](#)
- [**ミスコン**か被抑圧女性解放か](#)
- [**ミスコン**粉砕: ダハール首相の初仕事](#)
- [ミスネパール2009を容認したマオイスト](#)
- [神・女・酒: マオイスト政権の試金石](#)
- [クマリの世俗化, そして失業](#)
- [ミスネパール, お宝動画](#)
- [ネパール性治学試論](#)
- [性の世俗化と商品化](#)
- [Ganatantra = Guntantraとインドラ祭](#)
- [性と暴力と平和](#)

8:53 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事を引用](#) | [文化](#)

2010/08/08

首相選とカネ: マオイストの資本主義化

谷川昌幸(C)

今回の首相選では, マオイストがマデシ票をカネで買収しているという非難が早くから出されていた。

CPN-MLのCP・マイナリ書記長によれば, 第3回首相選のとき, マオイストはマデシ系議員に1 2 0 0万ルピーでプラチャンダ候

補への投票を持ちかけたという (Kathmandu Post, Aug 6)。第2回投票のときは、たしか2～3百万ルピーだったから、数倍に跳ね上がったわけだ。



マイナリ書記長(ekantipur)

7日にはUMLのオリ常任委員も、「プロレタリアが資本家議員を買収した」といって、マオイストを非難した。1 票数百万ルピーだそう。マユツバではあるが、マイナリ氏もオリ氏も公党を代表する有力者だから、まったく根拠がないわけではあるまい。

利益供与による票買収そのものは、日本と同様、ネパールでも広く行われてきたが、これまでは供与されるのは前資本主義的・伝統的な地位や権益が中心だった。それが、このところの急激な市場社会化で即物的なゲンナマとなったのだ。



100ルピー札(banknotenews.com)

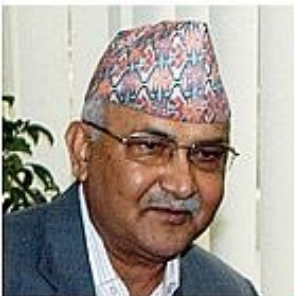
この紙面を見よ。マルクス・レーニン主義共産党のオリ常任委員がマオイストを非難している記事の横に、わが日本の英会話教材の宣伝が出ている。市場社会では、反資本主義であれ面白ければカネになる。共産主義より、資本主義の方が上手だ。

Proletarians bought capitalist lawmakers: Oli

EKANTIPUR REPORT

KATHMANDU, AUG 07 - Senior CPN-UML leader KP Sharma Oli charged that the proletarian leaders spend millions of rupees on the lawmakers of capitalist party to secure the prime ministerial berth.

Speaking at a programme organised in the Capital today, leader Oli claimed that the UCPN (Maoist) made a deal of millions of rupees in the election to the post of prime minister. "What an irony, proletarian buys capitalist lawmakers," Oli said, expressing his bewilderment.



Share/ Bookmark/ Rating

SHARE

BOOKMARK

(0 Votes)

0

TOEIC初受験
935点取得

2週間の勉強で
こんなTOEICスコアが取れる
なんてびっくりしました!

その方法
とは? =>

www.score-up-technic.com Ads by Google

Reporter(s)

EKANTIPUR REPORT

(ekantipur, Aug 7)

マオイストのゲンナマ買収工作がもし事実だとすると、前近代的・前資本主義的利益供与しかできないNC、UMLなどよりも、マオイストのほうがより資本主義化しているということになるであろう。

11:04 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [マオイスト](#)

2010/08/07

ネパール首相選と教祖アメリカ

谷川昌幸(C)

第4回首相選挙では、予想通り、ポウデル候補も過半数を獲得できず、落選した。次の第5回首相選挙は18日の予定。

■ポウデル候補

賛成122, 反対245, 棄権194 (出席561, 欠席38)

1. ネパール式熟議民主主義

これは、いま世界最先端の民主主義理論である熟議民主主義のモデルといってもよい。さすが新しいもの好きのネパール知識人、世界最新の政治理論をいち早く取り入れ、世界に率先して実験してくれている。ありがとう。

しかし、見方を変えれば、これは英国式民主主義の伝統の継承ともいえる。イギリスは議会制民主主義の本家であり、民主主義の本質を議論と考え、議会での討論にも時間制限を設けてはいなかった。野党議員は、採決を引き延ばすため、体力の続く限り昼も夜も延々と演説を続けたものだ。そうした「熟議」により議論が熟し、妥当な結論が導き出されると信じられていた。

2. ネパール版牛歩

日本でも、「牛歩」という民主的戦術がかつては認められていた。採決を引き延ばすため、本会議場壇上の投票場所に向かう歩みに最大限の時間を使う。停止すると棄権と見なされるので、牛のよだれのように、一步一步ゆっくりゆっくり歩く。短気な人々からは、愚劣と非難、嘲笑されたが、私はこれこそ政治的英知であると思っていた。世論が鋭く対立する重要案件については、牛歩で時間を掛けている間に、国民も議員も改めてその問題について考え直す最後の機会となっていたからである。

ネパール首相選挙も、英国式熟議民主主義であり、ネパール版牛歩である。短気にならず、機が熟するまで、何回でもやっていただきたい。世界最先端の実験なのだから。

3. カウボーイ民主主義

ところが、このネパール=英国式民主主義にいらだち、お節介を仕掛けているのがアメリカだ。みよ、このカンチプルHPを！ 第4回首相選挙の記事の横に、「OBAMA TODAY」の広告が出ている。スポンサーはいうまでもなくアメリカ国務省。

ekantipur.com

Our Publications » नेपाली दैनिक THE KATHMANDU POST

HOME NATIONAL WORLD SPORTS BUSINESS PHOTO GALLERY MULTIMEDIA MODEL WATCH

Headlines : [Carnick to miss start of season](#) | [Toxic mushroom sickens four](#) | [Youth organisation announces phys](#)

Home » Top Stories »

PM race becomes vicious with inconclusive fourth round; next poll on Aug 18

Share/Bookmark/ Rating

SHARE

BOOKMARK

(0 votes)

0

SANJEEB PHUYAL

KATHMANDU, AUG 05 - Adding to the woes of people anxious to know their new prime minister—if not the consensus one, the fourth round of election to the post of prime minister came and went fruitlessly as usual on Friday. The Business Advisory Committee of

OBAMA TODAY

ekantipur, 7 Aug.

これをクリックすると、アメリカ民主主義がいかに素晴らしいかが、西部劇的明快さで説明され宣伝されている。英仏への劣等感の裏返しであろうが、ネパールにしてもアメリカの何倍もの長く深い伝統を持っており、そんなカウボーイ民主主義を押しつけられても困るのだ。

ネパールは、「vicious(墮落, 邪悪, 欠陥)」などと自己卑下し、自虐的にならず、堂々と、ネパール式民主主義の実験を進めていただきたい。

4. 他よりもましな民主主義

首相選は、人民戦争はむろんのこと、タイヤ焼きやバンダよりもはるかにましだ。民主主義は時間がかかるもの。そのうち、自ずと妥当なところに落ち着く。待てない人々が危険な動きを始め、他に手段がなければ、大統領の委任独裁へ移行すればよい。そのくらのことは、古来、民主主義も認めている。

10:02 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [民主主義](#)

2010/08/06

プラチャンダ議長, 4回目も落選

谷川昌幸(C)

ネパール立法議会では4回目の首相選挙が行われているが、マオイストのプラチャンダ議長はまたまた落選した。UCPNの現有議席は237なのに、賛成票は213しかなかった。これまでの獲得票数は、第1回選挙242, 第2回選挙241, 第3回選挙259。身内議員票すら獲得できないとは、一体全体、どうなっているのだ。

目下投票中のポウデル候補 (NC)の落選もほぼ確実。5回目は18日らしい。

今日は、12議員が遅刻し、プラチャンダ候補の投票には参加できなかった。たるんでいるといえそうだが、4回目ともなると、まあ、そんなものであろう。

■ プラチャンダ (UCPN)

賛成 213, 反対 99, 白票 156, 投票総数 468

▼ 党派別議席数

UCPN (Maoist) 237
Nepali Congress 114
CPN-UML 109
TMLP 20
MJF 25
MJF-Loktantrik 28
Sadbhavana Party 9
Fringe parties 55
Independent 2
Vacant 2

19:56 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [民主主義](#)

核廃絶のトレンド化とネパール

谷川昌幸(C)

9.11により核抑止力の限界に気づいたアメリカが、「国益」の観点から核廃絶に大きく政策転換して以来、「ヒロシマ・ナガサキ」が世界平和のシンボルとしててはやされ始めた。

アメリカは、さすが偉大な民主国であり、国益のためであれば、自国の核使用の「道義的責任」を潔く認め、今日、8月6日の広島「平和祈念式」にはルース駐日大使を出席させた。



ルース大使(米大使館HPより)

アメリカが国家を代表する駐日大使を出席させたということは、事実上、原爆投下の結果への責任をも認めたことであり、暗黙裏に、原爆が非人道的兵器であり原爆投下は戦争犯罪であることを認めたことになる。そうでなければ、つじつまが合わない。われわれも世界の人々もつじつまがあうように解釈する。当然だ。

論理的にそうなることを知りつつ、核廃絶への政策転換を断行し、駐日大使を「平和祈念式」に参加させたアメリカは、やはり偉大だ。

その勇敢なアメリカにとっては、国益がすべてに優先する。アメリカは、核が抑止力とならず、むしろ危険だと判断し、今後は核廃絶を掲げることが通常兵器で圧倒的優位にあるアメリカの国益のためになると見極めた。そして、いくら苦しくても断固たる政治的決断により、過去の自分たちの言葉や政策を否定し、核廃絶に大きく政策を転換した。これにより、アメリカは世界平和の守護者としての威信を再構築することに成功した。いまや間違いなく正義はアメリカにある。新しいグローバル化時代も、おそらくアメリカ指導の時代となるだろう。

美国は実に美事だ。核廃絶を唱えつつアフガン戦争を戦う。いや、アフガン戦争(通常兵器)のために核廃絶を唱える。劣化ウラン弾で被爆被害をばらまきつつ、核なき世界の理念を高らかに掲げる。アメリカはいついかなる時でも冷徹な「国益」で動くのだ。実に美しい。

2

アメリカが、アメリカ国益のために、核廃絶を世界のトレンドにした。盟主はアメリカ。これを受けて、潘国連総長も、8月5日、長崎を訪れ、爆心地公園で「核廃絶」を訴えた。今日6日には、広島「平和祈念式」にも出席している。アメリカが核廃絶を錦の御旗にしたので、国連総長としても、それを担がざるをえないのだ。



爆心地公園の潘国連総長(長崎新聞)

アメリカ=国連が核廃絶を掲げ始めたとなると、日本政府もそれに追従せざるをえない。これまで邪険に扱われてきたヒロシマ・ナガサキに対しても、掌を返し、もみ手で接近してくるにちがいない。外務省あたりも、トレンドに乗り遅れるなど、「ヒロシマ・ナガサキ」グッズをあつめ、在外公館で「原爆展」などを賑々しく開催し始めるであろう。

3

わがネパールはどうするだろうか？ これまでもそうであったが、ネパールは世界の動向には極めて敏感であり、知識人やNGOなどが動き始めるだろう。ネパールでも、「ヒロシマ・ナガサキ」グッズが集められ、「原爆展」があちこちで開催されるようになるにちがいない。

4

この核廃絶気運の盛り上がりは、これまで地道に反核平和運動を進めてきた人々にとっては、待ちに待った好機到来にはちがいない。アメリカ、そしてそれに追従する国連や日本国政府にどのような政治的思惑があるにせよ、これは核廃絶に向かって世界を前進させるまたとないチャンスであり、最大限利用すべきであろう。

しかし、それと同時に、今後は、反核平和運動にはこれまでとは別の難しさも生じるにちがいない。アフガン戦争を戦いつつ核廃絶を唱えるオバマ大統領。核の傘への依存を公言しにくくなれば、その分、通常兵器増強、日米安保強化、海外派兵拡大に向かいかねない日本政府。反核運動は、核兵器以外にもっと目を向けざるをえなくなるであろう。

(補足) 菅首相、広島で核抑止を唱える

驚き、あきれ、落胆したのが、「原爆の日」の菅首相の広島での発言――

「国際社会では大規模な軍事力が存在し、核兵器をはじめとする大量破壊兵器の拡散もある。不確実な要素が存在する中では核抑止力は引き続き必要と考えている」

アメリカが核廃絶の根拠にしたまさにその事実(核拡散)を、菅首相は核抑止力の必要性の根拠にした。しかも、被爆地広島で。トンチンカンというか、政治的センスの欠落というか、あまりにも惨めだ。こんな小学生以下の首相は、即刻辞めさせるべきだろう。

2010/08/03

首相再々選挙へ：民主主義の進化と代償

谷川昌幸(C)

3日の再々投票でも首相は選出されなかった。

■ プラチャンダ (UCPN)

賛成259 (UCPN, 労農党, MJF約10)

反対114 (NC)

棄権208 (UML, MJF)

出席議員総数581

■ ポウデル (NC)

賛成124 (NC)

反対208 (UCPN)

棄権186 (UML, MJF)

出席議員総数518 (?)

▼ 議席定員601, 議員現員数599

UCPN237, NC 113, UML 109, UDMF 82

1. 民主主義の進化

首相が再々投票でも決まらなかったのは、見方によれば、民主主義のゆえである。民主主義は説得による政治(熟議民主主義)であり、専制や寡頭制よりも当然時間がかかる。短気な人には民主主義は向かない。[ベルギーでも首相選出までには9ヶ月もかかった。](#)

以前であれば、このような事態になれば、すぐにバンダ、投石、タイヤ焼きとなり、爆破騒ぎさえ珍しくなかった。いまのところ、そのような非民主的な「街頭政治」にはなっていない。話し合いで合意を得ようとする努力が続けられている。めざましい民主主義の進歩だ。すごい！

2. 待てない両軍

しかし、ネパールにはまだ短気な人がいて、行政権の長たる首相が決まらないのを利用して権力の伸張を図ろうとする。そのもっとも危険な反民主的勢力が、軍である。

国軍は、行政権の長が選出されない状況を利用し、欠員3434人(士官250人を含む)の募集広告をゴルカパトラに出した。

これに対し、マオイスト人民解放軍もまた、「欠員補充」を発表した。PLA兵力は、本来、31315人である。ところが、UNMINの資格審査の結果、現員は19604人になってしまった。定員補充のため11711人を募集する、というのだ。もし国軍の欠員補充が認められるなら、マオイスト人民解放軍の欠員補充も認められなければならない。論理的にはマオイストの方が正しい。

3. 民主主義の代償

民主主義には当然代償が必要だ。民主主義のために、何を犠牲にするか？ 時間がある程度かかるのやむをえない。しかし、もしそれが軍の独走のような危険な代償を要求するものなら、そのような状況下では、民主主義的手続きをある程度断念せざるをえない。

民主主義には、そうした現実的政治判断も不可欠なのである。

21:08 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [民主主義](#)

2010/08/01

タライ搾取者としてのマオイスト

谷川昌幸(C)

明日(2日)の首相選も、UDMF(統一民主マデシ戦線)がキャスティングボートを握りそうだ。UDMFはタライ・マデシ系4党の統一戦線で、82議席を持つ大勢力。(現有議席概数:UCPN238, NC110, UML109)

いまUDMFに接近しているのがマオイスト。UDMFの要求に対し、マオイストは7月31日正式の返書を出し、何とかプラチャンダ党首への支持を取り付けようとしているが、現状では難しそうだ。

最大のネックは、タライ(マデシ)を自決権を持つ単一の自治州とせよ、という要求。マオイストは、この要求を明確に拒否した。

タライは、自然豊かな穀倉地帯で、工業立地としても発展の可能性は大。タライはカトマンズなしでもやっていけるが、カトマンズはタライなしでは将来はない。マオイストがいうように下部構造が上部構造を決定するとすれば、いずれタライ(マデシ)とカトマンズの関係が逆転し、タライ優位に向かうのは必然と考えざるをえない。

ところが、マオイストはこの史的唯物論的必然をおそれ、マデシ82票が喉から手が出るほどほしいにもかかわらず、あれこれ策を弄し単一タライ(マデシ)州の要求には必死で抵抗している。これは、マオイストが、タライ(マデシ)との関係では、NCやUMLと同じく搾取者の側にあるからにはかならない。

このことは、国軍改革問題をもみても明らかである。マデシは、国軍を「包摂的」とするため、人口比に等しくなるまでマデシ系軍人を増員せよと要求し、しかも個人としてではなく集団として——マデシ部隊として——採用せよと主張している。

マオイストは、この国軍マデシ部隊の要求をも拒否しているが、これは単一タライ州拒否以上に苦しい。というのも、マオイストも人民解放軍の完全解体、個人としての国軍編入ではなく、実際には、部隊単位での統合を要求しているからだ。もしこれが認められるなら、マデシも国軍内にマデシ部隊をもってよいことになる。

マデシがマデシ部隊をもてば、単一タライ州は、独自の軍隊をもち、自決権による分離独立が可能となる。

マオイストが、NC,UMLと同様、UDMFの要求を呑めないのは、彼らもまたタライ搾取の側にたっているからである。

(追加) NCもマデシ要求拒否

NCもマデシの2大要求、「単一タライ自治州」および「国軍マデシ部隊」を拒否した。マオイストと同じ。UDMFはどうか？ よりましなマオイストに与するか？ それとも「中立」(白票?)を選択し、消極的なMK・ネパール首相支持に回るか？



マデシのHP

[タルーと人食いコンバイン](#)

[「人民」政府とマデシ共和国](#)

[マデシ抹殺？](#)

[マデシ運動と王党派](#)

[マデシ系サイト検閲ブロックか？](#)

[ネパール人とは？ タライの憲法論](#)

[タライの豊かさと貧しさ](#)

[タライの魚釣り少年たち](#)

[タライのイスラム教徒](#)

[悠久のタライとリキシャのある風景](#)

[FESの民主化支援活動](#)

12:33 | [コメントの投稿](#) | [固定リンク](#) | [この記事引用](#) | [マオイスト](#)